

2019 レーザー関東選手権大会 帆走指示書

2019 レーザー関東選手権大会は、日本レーザー・クラス協会主催、レーザー湘南フリート連合の運営により、2019年6月14日(金)~6月16日(日)に神奈川県江の島ヨット・ハーバーに大会本部を置き、その沖の海面でレースが開催される。

帆走指示書

SI の規則での[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができることを意味する。

SI の規則での[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課せられた艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは RRS63.1、A5 および A11 を変更している。

1. 規則

1.1 本レガッタには、セーリング競技規則(以下 RRS と略す)に定義された規則が適用される。

1.2 RRS42に対する特別な処置として付則Pが適用される。

1.3 RRS 付則 T が適用される。

1.4 RRS87 に基づきレーザー・クラス・ルール 7(a)を以下のように制限する: レース中は登録された1名のみ乗艇できる。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、江の島ヨットハーバー・ヨッ

トハウス1階A会議室の大会本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの最初の予告信号時刻の60分前までに掲示される。ただしレース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示される。

4. 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発せられる信号は、1階大会本部前のフラッグ・ポールに掲揚される。

4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

4.3 音響1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後、30分以降に発せられる」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れないよう求められる。[DP]

5. レース日程

5.1 レース日程およびレース数

6月14日(金)

13:00 - 16:00 受付・登録(1階A会議室)
および計測

6月15日(土)

8:00 - 9:30 受付・登録(1階A会議室)および計測

9:30 - 開会式・艇長会議(1階A会議室)

11:25 最初の予告信号

4レースを予定

18:00 - レセプション(1階A会議室)

6月16日(日)

8:30 - ブリーフィング(1階A会議室)

2019 レーザー関東選手権大会 帆走指示書

9:55 その日の最初の予告信号

3 レースを予定

17:00 - 表彰式・閉会式(1階 A 会議室)

表彰式・閉会式の開催時刻が変更される場合は最終レース終了後に提示される。

5.2 1 日につき 1 レースのみ翌日に予定されたレースを前倒しで実施することがある。

5.3 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

5.3 レースの予定された最終日には、14:30 より後に予告信号は発せられない。

6. クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	クラス旗
レーザー	白色地に赤のレーザー・マーク
レーザー・ラジアル	緑色地に赤のレーザー・マーク
レーザー4.7	黄色地に赤のレーザー・マーク

7. レース・エリア

添付図 A0 にレース・エリアのおおよその位置を示す。(江の島沖 B1 海面)

8. コース

8.1 添付 A1~4 の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 各クラスの予告信号以前に、帆走するコースを示す数字旗をレース委員会の信号船に掲揚する。

旗	コース
数字旗 1	1

数字旗 2	2
数字旗 3	3
数字旗 4	4

8.3 各クラスの予告信号以前に、レース委員会の信号船に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8.4 4 レグ以上帆走したマークでフィニッシュすることでコース短縮することがある。

9. マーク

9.1 マーク 1、2 および 3 はオレンジ色円柱形ブイ、マーク 1A および 3A はオレンジ色細長円柱形ブイとする。

9.2 スタート・マークは、スターボード端にあるレース委員会の信号船とポート端にあるオレンジ色細長円柱形ブイとする。

9.3 フィニッシュ・マークはスターボードの端にある青色旗を掲揚しているレース委員会の運営艇とポートの端にある黄色細長円柱形ブイである。

コース 1 および 2 のマーク 1 および 2 に対する SI11 に規定する新しいマークは黄色円柱形ブイとする。コース 3 および 4 のマーク 1 に対する SI11 に規定する新しいマークは黄色円柱形ブイとする。その他のマークに対しては元のものを用いる。

10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。

10.2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・ラインから 100m の範囲を回避しなければならない。[DP]

10.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない

艇は、審問なしに「スタートしなかった (DNS)」と記録される。これは RRS A4 と A5 を変更している。

10.4 RRS30.4(黒色旗規則)に以下を追加して適用する。

- (a) セール番号は少なくとも3分間掲示する。番号を最初に掲示する時に長音が発せられる。番号が掲示された艇は、新しい準備信号までに SI 10.4(b)に定義されるレース・エリアを離れなければならない。それに従わない場合、その艇は審問なしに DNE と記録される。
- (b) スタート信号前、レース・エリアはスタート・ラインから 100m の範囲とする。スタート信号後、レース・エリアはいずれかのフリートがレースを行っている間は、艇が通常帆走すると考えられる地点の外側 100m の範囲内とする。
- (c) レース委員会は、艇に RRS62.1(a)に基づいて救済が与えられるかもしれないと判断した場合、RRS30.4 違反艇のセール番号を掲示せず失格にしないことがある。これは RRS 30.4、60.2 および 63.1 を変更している。

10.5 RRS30.4(黒色旗規則)のゼネラルリコールの後を除き、OCS、UFD および BFD のセール番号はそのレースのフィニッシュ前から次のレースの予告信号まで、当日の最終レースの場合は最終艇がフィニッシュするまでレース委員会の信号船に掲示される。

11. コースの次のレグの変更

11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。

または、マークあるいはフィニッシュ・ラインを移動する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

11.2 レグの長さの伸縮を示す"+"および "-"の信号は示されない。これは RRS 33(b)を変更している。

11.3 SI11.1 に基づきコース 3 および 4 のマーク 1 が変更される場合、マーク 1A は設置されない。

12. フィニッシュ

12.1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13. タイム・リミットとターゲット・タイム

13.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは、次の通りとする。

タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	ターゲット・タイム
90 分	30 分	45 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。これは RRS32.1 を変更している。ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、RRS62.1(a)を変更している。

13.2 RRS に基づきスタートし、かつ RRS30(スタートのペナルティー)に違反していない最初の艇が、コースを帆走してフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは、RRS35、

2019 レーザー関東選手権大会 帆走指示書

A4 および A5 を変更している。

14. 抗議と救済要求

14.1 抗議書は、レース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。

14.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。

14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。審問はプロテスト・ルームにて掲示された時刻に始められる。

14.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。

14.5 RRS42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは提示される。

14.6 SI 4.3、10.3、16、17、21 および 22 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは、RRS60.1(a)を変更している。

14.7 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは RRS62.2 を変更している。

15. 得点

15.1 本大会の成立には、2レースを完了するこ

とが必要である。

15.2 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇の大会の得点は、レース得点の合計とする。4 レース以上完了した場合、艇の大会の得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

16. 安全規定

16.1 艇は毎日、出艇前にレース・オフィスの所定の用紙にサインして出艇し、着艇後当日の抗議締切時刻以前にサインしなければならない。[SP]

16.2 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。着艇後直ちに着艇申告を行い、抗議締切時刻以前にレース・オフィスのリタイア報告書にサインをしなければならない。[DP]

16.3 衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、競技者は水上では常に膨張式ではない個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウエット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚器具ではない。もし救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これは RRS40 を変更している。[DP]

16.4 救助を求める必要がある場合には"手のひらを広げて"振り、その意志を表わすこと。救助の必要がない場合には"こぶしを握って"振ること。

16.5 必要とみなされた場合、競技者は自艇を放棄してレスキュー・ボートに乗艇するよう運営艇に命じられることがある。その場合、運営艇、支援艇または競技者は、ハザードテープをバウ・アイに結んで乗員が

安全であることがわかるようにする。強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは RRS62.1(a)を変更している。

16.6 直径 6mm、長さ 5m 以上のバウ・ラインをバウ・アイにつけておかなければならない。
[DP]

16.7 マスト・トップに着脱可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1 か所のロープで取り付けなければならない。ただし、コンディションにより、付けたり外したりしてもよい。[DP]

17. 乗員の交代と装備の交換

17.1 競技者の交代は、許可されない。

17.2 選手は大会において 1 つのハル、セール、マスト、ブーム、センターボードおよびラダーを使用しなくてはならない。

17.3 艇または装備が損傷した場合、テクニカル委員長の書面での許可を受けた場合にのみ交換することができる。その日の最初のレースのスタート前 90 分以降からその日の最後のレースのスタート前までに破損が発生した場合、テクニカル委員会またはレース委員会に口頭で臨時許可を得た後、その日の抗議締切時刻以前に書面でテクニカル委員会に許可申し込みを行わなければならない。[DP]

18. 艇、装備および衣類の検査

18.1 艇と装備の検査を艇置き場にて受けなければならない。

18.2 艇、装備および衣類は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19. 運営艇

運営艇の標識は、次のとおりとする。

19.1 レース委員会の運営艇は白色旗を掲揚する。

19.2 プロテスト委員会の運営艇は白色地に JURY の黒色文字の旗を掲揚する。

19.3 テクニカル委員会の運営艇は、白色地に TECH の黒色文字の旗を掲揚する。

19.4 救助艇は白色地に RESCUE の赤色文字の旗を掲揚する。

20. 支援艇

20.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。ただし、レスキュー等緊急の場合を除く。[DP]

20.2 支援艇は水上にある場合、大会受付時に交付される「ピンク色旗」を掲揚しなければならない。[DP]

20.3 レース委員会艇に「緑色旗」が掲揚された場合、レース・エリアに入った救助活動の協力を要請する。この場合、SI20.1 は適用されない。[DP]

21. ごみの処分

ごみは、支援艇またはレース委員会の運営艇に渡してもよい。

22. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利

2019 レーザー関東選手権大会 帆走指示書

用できない音声やデータ通信を受信してはならない。[DP]

23. 賞

23.1 各クラス成績上位者には、賞が授与される。

23.2 「2019 年度全日本選手権出場資格取得

方法」に従ってクオリファイを与える。

24. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

付則文書

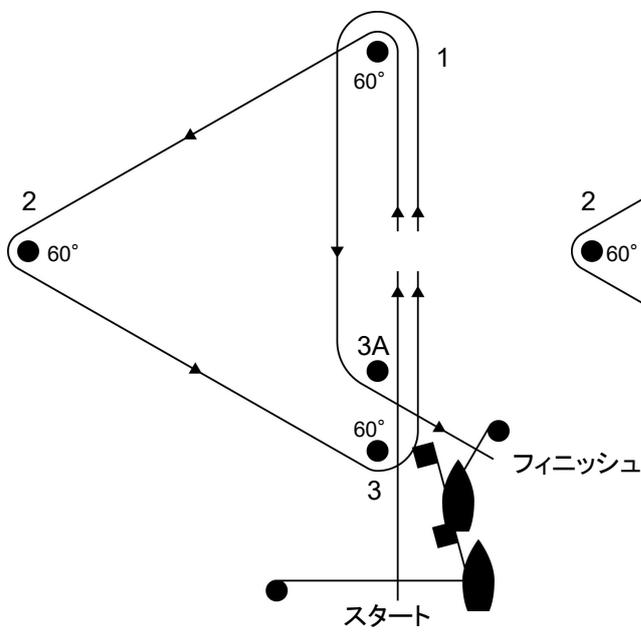
A0. レース・エリア



2019 レーザー 関東選手権大会 帆走指示書

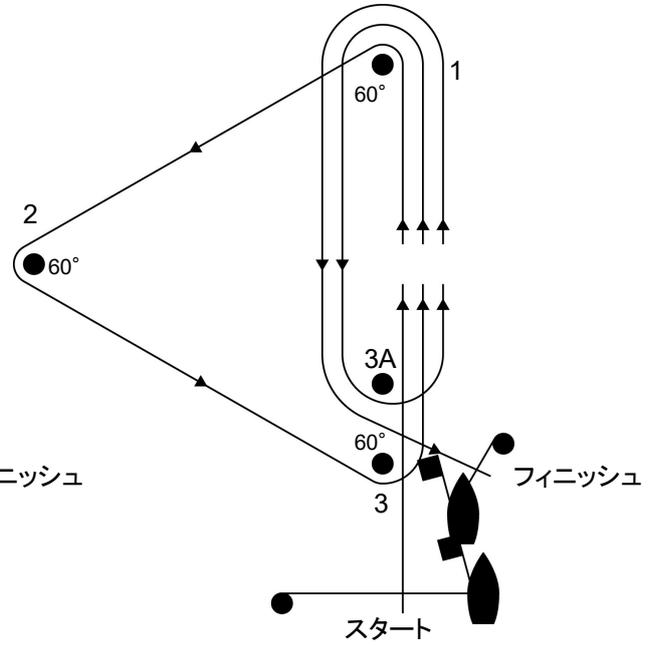
A01. コース 1

スタート-1-2-3-1-3A-フィニッシュ



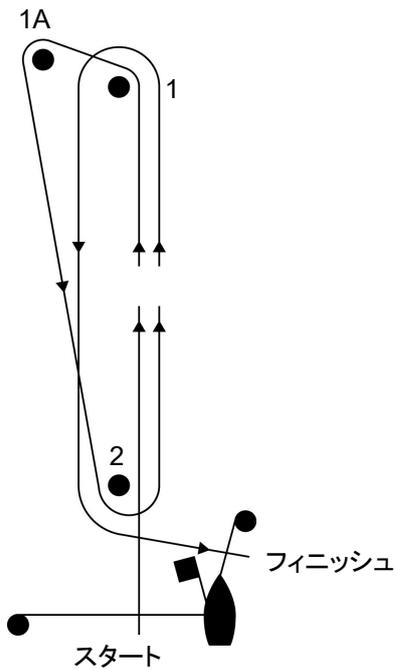
A2. コース 2

スタート-1-2-3-1-3A-1-3A-フィニッシュ



A3. コース 3

スタート-1-1A-2-1-2-フィニッシュ



A4. コース 4

スタート-1-1A-2-1-2-1-2-フィニッシュ

